

山木議員（自民議連）

令和5年2月15日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）これからの教員に求められる力について

教科指導についてはICT環境により、誰もが全国最高水準の指導に触れられるようにし、現場においては、子供達の健全な心身の発達や人格形成により良い影響を与える力のある教員が子供達の成長を促し、使命感と愛情を持って子供達と向き合っていく仕組みづくりが必要だと考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

教育に携わる者には、それぞれが担う職責を遂行するために、社会人として法律・法令等を遵守することに加え、教職員としての高い識見と専門的知識、豊かな人間性と深い教育愛や強い使命感が求められております。

そのため、本県におきましては、人材育成基本方針等を定め、子供に対する教育的愛情と教育に対する使命感を持つ教職員が育成されるよう、それぞれの職に必要な資質・能力を踏まえた研修を計画的に進めているところでございます。

具体的には、生徒指導や学校経営、授業づくりなどを体系的・継続的に学んでいくことを通して、高い識見と専門性を求めることにより、使命感の涵養を図っております。

また、教員の経験年数に応じて、「子供の心理的ケア」や「児童生徒理解」などの講座を実施することにより、児童生徒の健全な心身の発達や人格形成に関する理解を深めることを通して、教育的愛情が一層高まるよう、進めているところでございます。

今後、こうした研修を通じて育成された資質・能力が学校全体で展開される仕組みとして構築されるよう、校長及び教頭の学校組織マネジメントに係る研修を、さらに充実させてまいりたいと考えております。

引き続き、「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の実現」に向け、使命感と愛情を持って児童生徒の挑戦を後押しできる教職員の人材育成に取り組んでまいります。